

私たちの地理的利点です。そして多彩な多民族文化は我々の文化的利点であります。チャンスをしっかりとつかみ、適切な手段を実施すれば、ウルムチは全新疆，全中国，中央アジア，さらには世界に向けて、その特色ある観光文化のパワーを発揮することが出来るでしょう。

## (2)各都市からの発表

### 1. バンコク市

「バンコク市における多元的文化を通じての都市の発展」

バンコク市 文化スポーツ観光部 企画政策課長

スエチャロエン・スクリッタ

#### バンコク市と多元的文化という視点

1 文化に対する意識は、住民の間に、共同社会の一員であるという感覚や公共団体への帰属意識を形成するために、とても大切なものです。同じ地域に居住する人々が、互いの文化や経験を共有することになります。

2 多元的文化（文化の多様性）に対する意識はバンコク市にとって人種，民族，ジェンダー，宗教，経済社会的地位，知的または身体的能力によるグループ（ただし，必ずしもこれらに限定されない）の歴史，価値，経験，行為，交流（相互関係），情動を理解するための重要な手段になります。

多元的文化に対する認識は人事，実務のやり方，ネットワーク，安全，組織構造に影響を与えます。

バンコクは多元的文化を自覚した運営を行う団体として，最大限のパフォーマンスを上げるために，上記に述べた点を理解し，活動する必要があります。

多元的文化は，コミュニティーや都市において，それぞれが一人でないことを人々に認識させるための視点を理解することです。人々は，そうすれば相違と類似がある環境の下で，都市の発展に寄与することができます。

この問題に対するバンコク市の最上の方法は，都市の他の文化を受け入れることであり，それらからより多くのことを学ぶということです。

都市の発展には多くの手段があります。しかしながら多元的文化を育てていくことは都市の発展にむけての，バンコクの施策の中の主要な戦略の一つであると考えられています。

紛争を減少させ，問題を解決するためには，単一文化を促進し，発展させるようなことはするべきではない，というのもそれは，様々な文化に対して，その活動を共有し参加す

る機会を開いていないためです。

バンコク市の多元的文化の効果の主たる要素は以下のようなものです。

1 まず、多元的文化は社会的暴力を減少させることにつながります。都市やコミュニティの中で共に暮らす人々の間の多元的文化を理解し受け入れることは、都市やコミュニティに力強さを植え付けます。都市やコミュニティ、またそれ以外のどこであっても、その住民が多元的文化を理解し受容するならば、より効果的で効率的に、多元的文化が普及するでしょう。いずれにしても、多元的文化に関する活動の境界を、限られた地域だけに設けるべきではありません。それは、その外部や周辺に広がっていくべきものです。

2 多元的文化を通じた強化戦略は次の方法によって進められるべきです。

a) 身近にある文化の多様性を受け入れ、軋轢や抵抗なしに活動を共有し参加すること、全ての人々に理解させること

b) 市民や市民社会が担う多元的文化を発展させるためにコミュニティを強化すること

コミュニティや都市の強化は、コミュニティ側の準備や必要そして住民の参加に基づいて行われるべきです。そして、多元的文化は住民の活動を通じて実施されなければなりません。またそれは、都市やコミュニティを改善し、社会や経済的便益を向上させるために、住民の信頼と参加をもって形成する必要があります。

c) 教育カリキュラムとシステムは地方の状況、文化、伝統、生活様式に沿って変革されるべきです。生徒たちは教室の外で学び、より多くの生活上の技術を身につけるべきです。

d) 多元的な文化は地域の産物や地域の知恵、エコツーリズム、地域の慣習そして地域資源や自然を通じた経済発展を促進することができます。地域の人々は自然の資源を維持するために協力するでしょう。

e) 多元的文化価値の理解と向上に寄与するようマスメディアに要請します。芸術文化関係のマスメディアを様々な方法と統合することが必要です。

どのようにして、バンコク市は多元的文化的なアプローチを通じて都市を発展させているのでしょうか。

バンコク市は、タイの首都でありその面積は 1.568.737 平方キロメートルです。人口は 800 万から 1000 万人と推計されます。

文化振興による都市の発展に向けての実施されるバンコク知事の政策「文化首都・バンコク」のもと、この文化首都における各コミュニティが有する優れた伝統及び文化の公演を、年間を通じて提供することを目指しています。

多くの関連計画がこの政策の下に策定されています。「都市間文化交流プログラム」、「ストリート劇場」、「バンコク地域美術館」、「バンコク市芸術センター」、「彫刻コンテスト」、「ソングクラン祭開催によるタイの伝統保護」、「ロイ・クラトン祭」や「新年祭」などを行っています。

また、バンコク市は、この都市を音楽都市として打ち立てようとしています。多くの演奏会が公園音楽祭やバンコク・フィルハーモニー・オーケストラによって行われています。

しかしながら、都市発展としての多元的文化事業としては、シロームフェスティバルのパレードであるシローム・カーニバル祭や、一村一品運動やバンコク市立学校における二カ国語教育（中国語、日本語、英語）などのイベントや活動が展開されています。

バンコク市はおよそ 223 年の歴史を持っています。バンコク市の歴史は様々な方面で発展してきました。その文化の多様性はよく知られています。

私たちは、多元的文化を理解し、自覚を深めようと懸命に努めてきましたので、バンコク市の発展はあらゆる問題や紛争を伴うことなく、様々な相違や類似性のもとに進められてきました。文化への自覚は世界市民としての責任感やその認識を住民の間に浸透させるために大切なものです。

バンコク市の有する多元的文化を通じて都市を発展させる最も良い方法とは、異なる文化を有する人々と知り合い、経験についての話を聞き、共有し、多様な文化的視点をその活動や生活様式の中で実践していくことです。バンコク市は都市を改善し魅力的なものにするために、それぞれのコミュニティーのアイデンティティを探求し、発見する機会を支援し、その機会を開かれたものにしていきます。

都市の発展の主な目的は、人々の生活の質を向上させることです。この目標に近づくために、都市の発展、物理的環境的な発展、社会経済の発展、精神的な発展などの様々な次元から構成されます。（これらは自覚を促し、コミュニティーや家族のつながりを強化します）

バンコクは 50 の“地区<sup>1</sup>”に分けられます。それぞれの地区は、人種、宗教、文化と伝統、職業、信仰姿勢などの点における相違と類似性を有しています。

地区レベルでの文化の多様性は非常に興味深く、そして、そのいくつかは、バングラック地区のようにバンコクの文化の発展の中心と考えられているものもあります。

バンコクの観光名所として、有名なデュシタニ街、宝石街があり、税収も高く、中央郵便局がある郵便の中心でもあり、バングラックと名付けられた愛の伝説などがあります。バングラックはバンコクのめざましい発展と古くからの様式が柔軟に交わった地域です。

今日、バングラックは重要な商業の中心です。会社や政府サービス、民間企業、銀行、金融機関、大使館、高級ホテル、仏教、キリスト教、イスラム教の聖堂などの宗教的な場所やデパート、またエンターテインメントなどがあります。

過去から現在に至るまで、バンコクは、他都市と同様に大小のビジネスに従事する労働者であふれていました。ビジネスのメインストリートは、シーロム通り、スラウオン通り、サートーン・ヌア通り、ラーマ通りです。冬の祭りの期間には、バングラックの街路やショッピングエリアではこれを祝って、シーロム・カーニバルや、ウマシュー神祭などが催されます。多くの人々がこの時期に来訪し、祭りに参加します。

首都におけるビジネスの中心地である他に、バングラックには、イエローブリッジやサ

---

<sup>1</sup> Khet（ケート） バンコク市の下位行政区分、特別区に近い。

ワン橋周辺に多くの主要なコミュニティがあります。マハ・プレタラム・コミュニティは中国系の人々が共に生活するコミュニティです。彼らのほとんどが仏教徒です。またイスラム系コミュニティがワット・ムアン・カエやハルーンモスクの周辺にあり、毎年行われるラマダン祭や毎週金曜日のラーマなどの宗教的な日を祝っています。

様々な国籍と宗教の人々が、バングラックの様々なコミュニティの中で共存しています。他の民族集団（エスニックグループ）や信仰を差別することはありません。なぜなら、みんなタイ人であり、同じ国の中で懸命に生きていていると考えているからです。

バングラックには、一度は訪れる価値のある重要な場所が多くあります。例えば、バンコクの中心街にあり、建物とコミュニティによって囲まれた平らな低地に建つフア・ルンポン寺、シャロム通りにあり、素晴らしいインドの建築を有するワット・フラジ・ウマシューやワット・カック・シロム、ヒンズー教の寺。またシルバ・リングム、シバ神、ヴィシュヌ神、ウマシュー神、カーリ神などの神がまつられています。

ウマシュー神をまつるパレードが毎年行われます。鋭い鉄製の道具で体の一部を痛めつける演技が披露されます。中国人、タイ人、ヒンディー人、また外国人など、様々な人々が訪れ、セレモニーに参加します。

中央郵便局はタイの郵便、電話、国際通信の中核ですが、中央郵便局の建物のいくつかの部分は古い様式の美しさを留めています。

観光客がアンティグアの木製の石や、タイ製の生地、書籍などを購入するショッピングモールをはじめ、お土産、宝石店などは、シーロム通りの両側にあります。

シーロム通りの歩道に沿って、立ち並ぶ多くの屋台（食事を提供する屋台）が客を待っています。パトポンは、新旧の音楽を満喫できるパブのある昔からの夜の歓楽街になります。手製の屋台やものまねバンドなどを含む、バーとクラブの中心街です。10年以上の歴史のあるワゴン、屋台、小店において、国内外の様々な美味を味わえます。

過去から今日に至るまで、バングラックの華やかなエンターテインメントと多元的文化は、タイと他国の人々の記憶から消え去ることはありません。バングラックは今日、様々な多元的文化的地域を包含しつつ、様々なものが行き交い、最初の世代から時の経過の中で新旧を産み出して来しました。

## 結論

都市の発展は政策と活動を必要とします。それゆえに、政策的なレベルでは、多元的文化と単一文化が共に機能する力強い政策がなければなりません。しかしながら、多元的文化はまた経済や物理的な発展を含む、他の発展の手段と結びつかなければなりません。

活動のレベルでは、地域こそが多元的文化の主な動力となっています。毎年、人々の参加によって地域の発展の活動計画が決定されなければなりません。地域の人々が多元的文化的な活動を、例えば地方博物館や美術展を、自分たちで運営しなければなりません。一つの地区が、少なくとも一つのコミュニティか活動において、その長所と短所を明確にする必要があります。